

題材名・単元名	学部	授業名 (主たる教科領域)	授業者
磁石の不思議	中	生活 Eグループ (理科)	的場宣賢
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> 磁石の性質を知る。 磁石は、離れていても引きつけ合うことを体験する。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1、あいさつ	1、始まりのあいさつを全員で言う。	<ul style="list-style-type: none"> これから「生活」の勉強を始めます。と全員で言えるようにゆっくり話す。 	
2、出席確認	2、名前を呼ばれたら、挙手をして「ハイ！」と返事をする。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人、出席を確認していく。 	
3、磁石の不思議	3、① 凧の上部にゼムクリップを固定する。その後、30cm程度の凧糸を凧の下部に固定する。固定はセロテープで行う。	<ul style="list-style-type: none"> 準備物 ミニ凧、クリップ、凧糸、セロハンテープ、ネオジウム磁石 	
① 空飛ぶ「凧」を作ろう			
② 「凧」を飛ばしてみよう	② 凧糸部分を机に、外れないようにセロハンテープで留める。クリップ部分に、ネオジウム磁石を近づけ凧を飛ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ネオジウム磁石は、磁力が強いので取り扱いには注意する。 凧を飛ばすために、クリップとネオジウム磁石の距離に着目する。 	
4、本時のまとめ	4、磁石は、離れていても引きつけ合うことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人に、感想などを聞いていく。教師と確認がいる生徒には、選択制にする工夫をする。 	
5、あいさつ	5、終わりのあいさつを全員で言う。	<ul style="list-style-type: none"> これで「生活」の勉強を終わります。と全員で言えるようにゆっくり話す。 	

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 「凧を飛ばす」という経験したことがあるものと「磁石の性質」を学ぶという2つがマッチしたところが良かった。
- 生徒が、磁石は離れていても引きつけ合うことに関心を持ち、意欲的に取り組んでくれた。
- 凧以外にも、机上有るもの（磁石に引きつけられるもの）に、机内から磁石を当てながら、机上有るものを動かすなど、発展したことを生徒自らが取り組んでくれた。